

庭園の調査とCADでの提案

県立神奈川工業高等学校 建設科 3年1組

生徒氏名：瀬戸 蒼真

1. はじめに

今回の課題研究では、奥深い日本の庭園、その中でも様々な種類がある飛び石の調査を中心に、その庭園を東日本建築研究会コンクールのCAD部門への参加を目指して、課題研究を進めました。

2. 活動スケジュール

- 7月・方向性の決定とスケジュール確認
- 8月・全国の日本庭園を調査
 - ・飛び石に関する調査
- 9月・継続調査
 - ・エスキス
- 10月・エスキスに基づきCAD
- 11月・CAD作業
- 12月・課題研究発表会の冊子づくり
- 1月・課題研究発表会へのパワーポイント作成
 - ・発表の準備

3. 活動内容

① 調査

様々な日本庭園を調べているうちに、飛び石には様々な種類があることが分かりました。その中でも代表的な飛び石の紹介をします。

・直打ち (ちよくうち)

すべての石を直線状に並べた打ち方です。歩きやすいように、歩幅に合わせて並べます。

・二連打ち (にれんうち)

2つの石を続けて真っすぐに打ち、左右に振り分ける打ち方です。変化があり、歩いていても楽しさが感じられる打ち方です。



二連打ち例

・三連打ち (さんれんうち)

2連打ちの石を3つ連続に変えたものです。左右にずらした石とうまく組み合わせると、かなり変化に富み、見た目も美しくなります。

・千鳥打ち (ちどりうち)

石を左右交互に打つ方法です。順番に左、右、左、右と打つこの配置を「千鳥」といいます。

・雁掛け (がながけ)

数匹の雁が空を飛んでいるような形に似ている打ち方です。まさに雁行しているイメージです。

このほか、二三連打ちや大曲り、七五三打ちといった飛び石の打ち方があり、目的の場所に早く向かうためには直打ち、ゆっくり視線を変えて歩くためには千鳥打ちといった様に目的など綿密に考えられて庭園の飛び石は構成されていることが分かりました。

② エスキス

様々な飛び石の調査の後に、東日本建築研究会のコンクールに参加すべく、エスキスを

開始しました。基本的には家の外周の飛び石は様々な種類の飛び石の打ち方により、和風の庭の中でも遊び心がある感じとしました。CADで和風の庭を書くことを三年間の集大成ということで行っていることもあり、様々なものを使いたいという気持ちもありました。

具体的には玄関に行くルートと車のところから出るところは、千鳥打ちとし、その他の打ち方は様々な打ち方をすることとなりました。庭全体としては落ち着いた庭に見えるため枯山水とし、和室から見える位置に配置しました。その他ドアから庭に降りる所は大きい石を置き、安全面に考慮しつつ、景観、趣を崩さないように心がけて構成しました。

③ CAD

石の質感をCADで表現するために、石自体をシングルラインでは無く、幾重にも細かい線で構成することにより、複雑な割れ方をしている石の雰囲気を出すこととしました。

4. まとめ

完成することは出来ましたが、今回の課題研究中、体調を崩し数週間作業をすることが出来ず、コンクールの期日に間に合わせることが出来ず、悔しい思いをすることとなりました。コンクール後も完成を目指し作業を進め、まとめるタイミングでまたしても体調を崩し数週間に渡り、学校に行くことが出来ず、大変でした。

ただし、全体を通じて日本庭園や飛び石の奥深さを感じる事が出来て大変良かったです。

